



わかっぱ

工  
事  
情  
報

## 和食ダム本体工事の進捗状況

下の写真は、和食ダムの現在の様子です(平成28年9月撮影)。ダム正面からの写真では、完成後のダムの形が想像できるようになってきました。平成28年6月30日の打設量30,000m<sup>3</sup>到達から早くも3カ月近くが経ち、現在の打設量は、約40,000m<sup>3</sup>、進捗率約63%(平成28年9月23日時点)になりました。



ダム正面から (流向→)



EL.100m  
天端高さ

基幹管理道から



右岸展望台から

## 和食ダム付替道路工事の進捗状況

付替道路(ダムサイト側)



貯水池の上流で施工中の付替道路では、その足元となる、「基礎コンクリート」を施工中ながやき。



(流向→)



(流向→)

付替道路(上流側)



# 和食ダム 現場見学会

高知県土木施工技士会・株式会社高階 現場見学会

## 高知県土木施工技士会



現場見学



右岸展望台より

## 株式会社高階



第一班



第二班



メモリアルストーン

※メモリアルストーンとは、ダムへの思いや願い事を書いていただく、ダムコンクリートに混ぜる石です。全国各地のダム建設現場で行われています。



7月に高知県土木施工技士会主催の小学生を対象とした研修会が、和食ダム建設現場で行われました。小学生20名程度、高校生10名程度、大人5名程度の方が参加され、座学と現場見学を通じて、土木技術やダム工事に関する学習をしていただきました。座学と現場見学会の後には、和食ダムで使用されるコンクリート用骨材を利用し、メモリアルストーンを1人1個作成していただきました。

9月には、株式会社高階(兵庫県)から総勢70名程度の方が現場視察に訪問され、熱心に学習していただきました。当日は雨も降る悪天候ではありましたが、右岸展望台までの徒歩移動の間にも、建設業界関係者ならではの視点から様々な質問をいただき、対応した職員も身が引き締まりました。

## 芸西村の史跡紹介【第6弾】

よしだいちざえもん  
「藤ノ上の吉田市左衛門」



位置図

### 《藤ノ上の吉田市左衛門》

長宗我部の重臣、吉田備後守の長男、伊賀介は、馬ノ上城を占領し、家族らは馬ノ上で住んでいたとされています。吉田市左衛門は、その伊賀介の孫として藤ノ上で生まれました。武勇抜群にて刀傷21ヶ所、大阪の陣までに捕らえた敵の数115人、豊田秀吉の朝鮮の戦では、敵将朴好仁を捕らえ、さらに虎をも退治し、長宗我部元親、盛親より感状7通、太刀3振りを頂いたと系図に記されているそうです。

また、幕末の政治家吉田東洋は、吉田市左衛門の弟の子孫です。

次回は「清水寺跡」です。



## 集落活動センターげいせい

第1回、第2回、第3回定例会

第1回定例会



第2回定例会



第3回定例会



7月、8月、9月に行われた集落活動センターげいせいの定例会に和食ダム建設事務所として参加させていただきました。

集落活動センターとは、中山間地域を元気にすることを目的として、集落の維持・再生を支援し、地域の方々为主体となって産業や防災といった活動を進めるコミュニティーです。

第2回、第3回の定例会では、愛媛大学笠松教授の指導のもと、芸西村の課題や芸西村でやってみたいことについて意見を出し合いました。農業、定住や伝統などについて様々な意見が出てきたなかで、「観光」については、和食ダムに関する意見も挙げられ、例えば「観光スポットとして和食ダムを活用し、ダム見学に来られた人に芸西村の特産品(ナスやピーマン)を使った料理を食べてもらいたい」というものもありました。治水・利水以外での可能性も期待されていることを知り、大変うれしく感じました。

今後も集落活動センターの活動に関わっていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。



藤ノ上にある吉田市左衛門の出生の地